※令和４年度以降入学生用

学校番号	315

令和５年度　外国語科

教科	科目	単位数	指導学年	教材名・副教材名
外国語	英語コミュニケーションⅡ	3	第２学年	CREATIVE English CommunicationⅡ 予習・授業ノート CREATIVE English CommunicationⅡ WORKBOOK 必携英単語 LEAP Rapid Reading 改訂版 Level1 Listening Pilot Level 2.5 改訂版

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

Listening, Reading, Speaking, Writing の指導を通して、「知識・技能」「思考・判断・表現」を一体的に育成するとともに、その過程を通して「主体的に学習に取り組む態度」を育成していきます。
読むことや聞くことを中心とした総合的な言語活動を通して、英語でコミュニケーションを図るために必要な読解力や Listening 力を育成するとともに、その過程を通して、自ら考え、理解しようとする「主体的に学習に取り組む態度」を養います。

2 学習の到達目標（「CAN-DO リスト」の形での学習到達目標）

【第２学年】

領域	聞くこと	読むこと	話すこと （やり取り）	話すこと （発表）	書くこと
学習到達目標	相手が言ったことを正しく聞き取れる。 やや難しい、速い英文を聞き、正しい解答を選べる。 発表者・発言者の発言を正しく聞き取れる	つなぎの言葉の使い方を理解して読むことができる。 文と文の関係やパラグラフの構成を理解しながら読むことができる。 文章の要点をつかむことができる。	与えられた状況で、適切に話し伝える 自分の身近なテーマについて、自分の意見を、適切な表現で伝えられる	与えられたテーマに沿って、情報を調べ、英語で発表する準備を個人単位、グループ単位でし、必要な調整や修正を加え、より良い発表を作り上げていくことができる 用意した原稿を基本とし、原稿を覚えたまま発表するのではなく、より伝わりやすく、自分の言葉を加えながら発表することができる。	学んだ文法を的確に使って文を書ける。 与えられた課題について文章が書ける。 パラグラフの構成を考えながら文章が書ける

3 学習評価(評価の観点と実施方法)

観点	a 知識・技能	b 思考・判断・表現	c 主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと・読むこと・話すこと・書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けている。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を身に付けている。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、主体的・自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を身に付けている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまり（領域）ごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	課 “題材名”	領域	評価規準	評価方法
１学期	Lesson1 Voice for Action Rapid Reading Lesson1-4 Listening Pilot 2.5 Lesson1-4	聞くこと	a: 音声を聞いて、内容を聞き取れる。 b: 音声を聞いて、話者の気持ちや重要な情報は何かを考えられる。 c: 音声を聞き取り、内容を理解しようとする態度が見られる。	定期考査 （リスニング）
		読むこと	a: 目標時間内に必要な情報を読み取ることができる。日本語と英語の語順の違いに注意して、英文を理解することができる。 b: 国連ユース気候サミットの参加者の活動とメッセージを的確に理解し、その内容を整理することができる。 c: 国連ユース気候サミットの参加者の活動とメッセージを的確に理解しようとする態度がみられる。	定期考査 （リーディング）
		話すこと （発表）	a: 単語を正しく発音することができる。意味の区切りを意識して話すことができる。抑揚やアクセントを付けて話すことができる。学習した表現を正しく使うことができる。 b: 国連ユース気候サミットの参加者の活動とメッセージを的確に理解し、その内容を整理して伝えることができる。聞き手に配慮しながら、環境のためにやってみたい活動について説明できる。 c: 学習した表現や文法を用いて、自分の意思や考えを相手になんとか伝えようとする態度がみられる。	授業内テスト （スピーキング）
		書くこと	a: さまざまな助動詞、分詞構文（現在分詞）を適切に用いて書くことができる。 b: 国連ユース気候サミットの参加者の活動とメッセージの内容を整理して書くことができる。 c: 模擬サミットの特徴を理解し、環境保護のために取り組みたい活動について説明しようとしている。	定期考査 （ライティング）
	中間考査			
	Lesson 2 Aren’t You Sleepy? Lesson 3 Becoming Attractive to Your Audience Rapid Reading Lesson5-8 Listening Pilot 2.5 Lesson5-8	聞くこと	a: 音声を聞いて、内容を聞き取れる。 b: 音声を聞いて、話者の気持ちや重要な情報は何かを考えられる。 c: 音声を聞き取り、内容を理解しようとする態度が見られる。	定期考査 （リスニング）
		読むこと	a: 目標時間内に必要な情報を読み取れる。未知語の意味を推測し、文章の展開（列挙）に注意して英文を理解できる。 b: 動物の睡眠やアスリートのスピーチに見られる特徴について的確に理解し、その内容を整理することができる。 c: インタビューやスピーチにおける注意点を理解しようとしている。効果的なスピーチにするための方法を理解しようとしている。	定期考査 （リーディング）
		話すこと （発表）	a: 単語を正しく発音することができる。意味の区切りを意識して話すことができる。英語のリズムやイントネーションに注意して、英文を音読することができる。学習した文法や表現を正しく使うことができる。 b: 動物の睡眠やアスリートのスピーチに見られる特徴について的確に理解し、その内容を整理して伝えることができる。整理した内容を活用して、自分の睡眠習慣や高校生活で達成したいことについてスピーチをすることができる。 c: 学習した表現や文法を用いて、自分の意思や考えを相手になんとか伝えようとする態度がみられる。聞き手や読み手に配慮して、わかりやすく自分の睡眠習慣について説明しようとしている。効果的なスピーチにするための方法を理解し、わかりやすくスピーチをしようとしている。	授業内テスト （スピーキング）
		書くこと	a: 受け身の分詞構文，副詞節中の〈S＋be〉の省略や関係代名詞の非制限用法、仮定法過去・仮定法過去完了を適切に用いて書くことができる。 b: 動物の睡眠やアスリートのスピーチに見られる特徴について整理して伝えることができる。整理した内容を活用して、自分の睡眠習慣や高校生活で達成したいことについて説明することができる。 c: わかりやすく自分の睡眠習慣や高校生活で達成したいことについて説明しようとしている。	定期考査 （ライティング）
	期末考査			

※令和４年度以降入学生用

2 学期	Lesson 4 Are You Prepared? Lesson 5 The Era of Beautiful Harmony Rapid Reading Lesson9-12 Listening Pilot 2.5 Lesson9-12	聞くこと	a: 音声を聞いて、内容を聞き取れる。 b: 音声を聞いて、話者の気持ちや重要な情報は何かを考えられる。 c: 音声を聞き取り、内容を理解しようとする態度が見られる。	定期考査 （リスニング）
		読むこと	a: 目標時間内に必要な情報を読み取ることができる。同格表現や言いかえ表現、文章の展開（対照）に注意して英文を理解することができる。 b: 自然災害と防災や日本および世界の元号について的確に理解し、その内容を整理して読み取ることができる。 c: ディスカッションの役割分担や英語のアンケートの構成を理解しようとしている。	定期考査 （リーディング）
		話すこと （発表）	a: 単語を正しく発音することができる。意味の区切りを意識して話すことができる。英語のリズムやイントネーションに注意して、英文を音読することができる。学習した文法や表現を正しく使うことができる。 b: 自然災害と防災について整理した内容を活用して、防災グッズについてプレゼンテーションをすることができる。日本および世界の元号やフードロス・フードウェイストの問題について的確に理解し、その内容を整理して伝えることができる。 c: 学習した表現や文法を用いて、作業の手順やディスカッションの役割分担を相手になんとか伝えようとする態度がみられる。	授業内テスト （スピーキング）
		書くこと	a: 助動詞＋have＋過去分詞、完了不定詞関係副詞の非制限用法、同格の that について理解を深め，これらを適切に活用できる。 b: 自然災害と防災、日本および世界の元号やについて的確に理解し、その内容を整理して伝えることができる。日本の俳句の英訳をすることができる。 c: 読み手に配慮して、わかりやすい俳句の英訳をしようとしている。	定期考査 （ライティング）
	中間考査			
	Lesson 6 Actions to Reduce Loss and Waste Lesson 7 Living with Adventure Rapid Reading Lesson13-16 Listening Pilot 2.5 Lesson13-14	聞くこと	a: 音声を聞いて、内容を聞き取れる。 b: 音声を聞いて、話者の気持ちや重要な情報は何かを考えられる。 c: 音声を聞き取り、内容を理解しようとする態度が見られる。	定期考査 （リスニング）
		読むこと	a: 目標時間内に必要な情報を読み取ることができる。 b: 文章の展開（対照）に注意して、英文を理解することができる。さまざまな仮定法、否定語＋倒置を含む英文を理解することができる。 c: 英語のアンケートの構成や南谷真鈴さんの冒険と彼女のメッセージを理解しようとしている。	定期考査 （リーディング）
		話すこと （発表）	a: 単語を正しく発音することができる。意味の区切りを意識して話すことができる。英語のリズムやイントネーションに注意して、英文を音読することができる。学習した文法や表現を正しく使うことができる。 b: フードロス・フードウェイストの問題や南谷真鈴さんの冒険と彼女のメッセージについて、整理して伝えることができる。整理した内容を活用して、フードロス・フードウェイストについてのアンケートに質問項目を追加し、その理由を説明したり、自分自身の目標や行動計画を説明したりできる。 c: 学習した表現や文法を用いて、自分の意思や考えを相手になんとか伝えようとする態度がみられる。聞き手に配慮して、アンケートに質問項目を追加し、わかりやすくその理由を説明しようとしている。プレゼンテーションの注意点を理解し、わかりやすく自分自身の目標や行動計画を説明しようとしている。	授業内テスト （スピーキング）
		書くこと	a: 完了形の分詞構文、複合関係詞やさまざまな仮定法、否定語＋倒置について理解を深め、これらを適切に活用することができる。 b: フードロス・フードウェイストの問題について整理して伝えることができる。整理した内容を活用して、フードロス・フードウェイストについてのアンケートに質問項目を追加し、その理由を説明することができる。南谷真鈴さんの冒険と、彼女のメッセージについて整理して伝えることができる。整理した内容を活用して、自分自身の目標や行動計画を説明することができる。 c:読み手に配慮して、わかりやすく自分自身の目標や行動計画を説明しようとしている。	定期考査 （ライティング）
	期末考査			

※令和４年度以降入学生用

３学期	Lesson 8 Power to the People! Lesson 9 Traveling This Beautiful Planet Rapid Reading Lesson17-20	聞くこと	a: 音声を聞いて、内容を聞き取れる。 b: 音声を聞いて、話者の気持ちや重要な情報は何かを考えられる。 c: 音声を聞き取り、内容を理解しようとする態度が見られる。	定期考査 （リスニング）
		読むこと	a: 目標時間内に必要な情報を読み取ることができる。文章の展開（時間的順序）に注意して、英文を理解することができる。 b: 電池の発展やオーバーツーリズムの問題と新しい旅行様式について的確に理解し、その内容を整理して読み取ることができる。 c: ユーザーマニュアルの情報やソーシャルメディアの特徴を理解しようとしている。	定期考査 （リーディング）
		話すこと （やり取り）	a: 単語を正しく発音することができる。意味の区切りを意識して話すことができる。学習した文法や表現を正しく使うことができる。質問を正しく理解し、適切に答えることができる。 b: 「旅行の写真をソーシャルメディアに挙げるべきか」といった賛否の分かれる質問に対して、賛否を明らかにしたうえで、論理的に理由を２つ説明することができる c: 自分の意思や考えを相手になんとか伝えようとする態度がみられる。	授業内テスト （スピーキング）
		書くこと	a: 独立不定詞・独立分詞構文、if…以外が条件を表す仮定法や前置詞＋関係代名詞、強調構文について理解を深め、これらを適切に活用することができる。 b: 電池の発展やオーバーツーリズムの問題と新しい旅行様式について、その内容を整理して伝えることができる。整理した内容を活用して、旅行の写真をソーシャルメディアに挙げるべきかどうかについて、自分の意見を複数のパラグラフで書くことができる。 c: 読み手に配慮して，創造的であるためには何が必要かをわかりやすく説明しようとしている。	定期考査 （ライティング）
	学年末考査			

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度